

新型コロナウイルス感染症に 伴う病院小児科の影響調査 (1次調査) 概要

2020年12月21日

対象：日本小児科学会代議員勤務医221の有効回答
(日本小児科学会代議員施設数約400へ依頼)

調査担当：社会保険委員会

調査概要

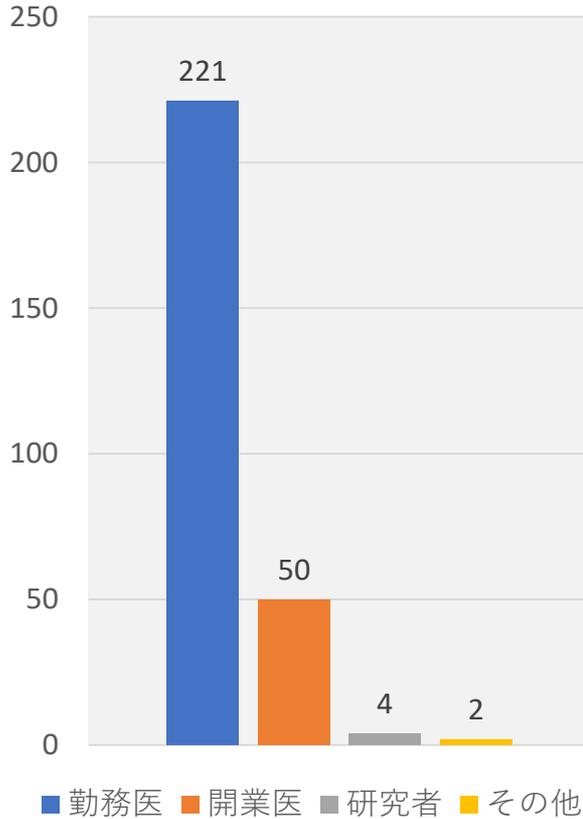
- 実施時期：令和2年 7月～8月
- 対象：日本小児科学会代議員583名
注) 同一施設に複数の代議員が所属することから、
回答は施設毎に1回答として集計)
- 回答方法：Survey Monkey®を用いたWeb調査

新型コロナウイルス感染症に伴う病院小児科の影響調査（1次調査概要）

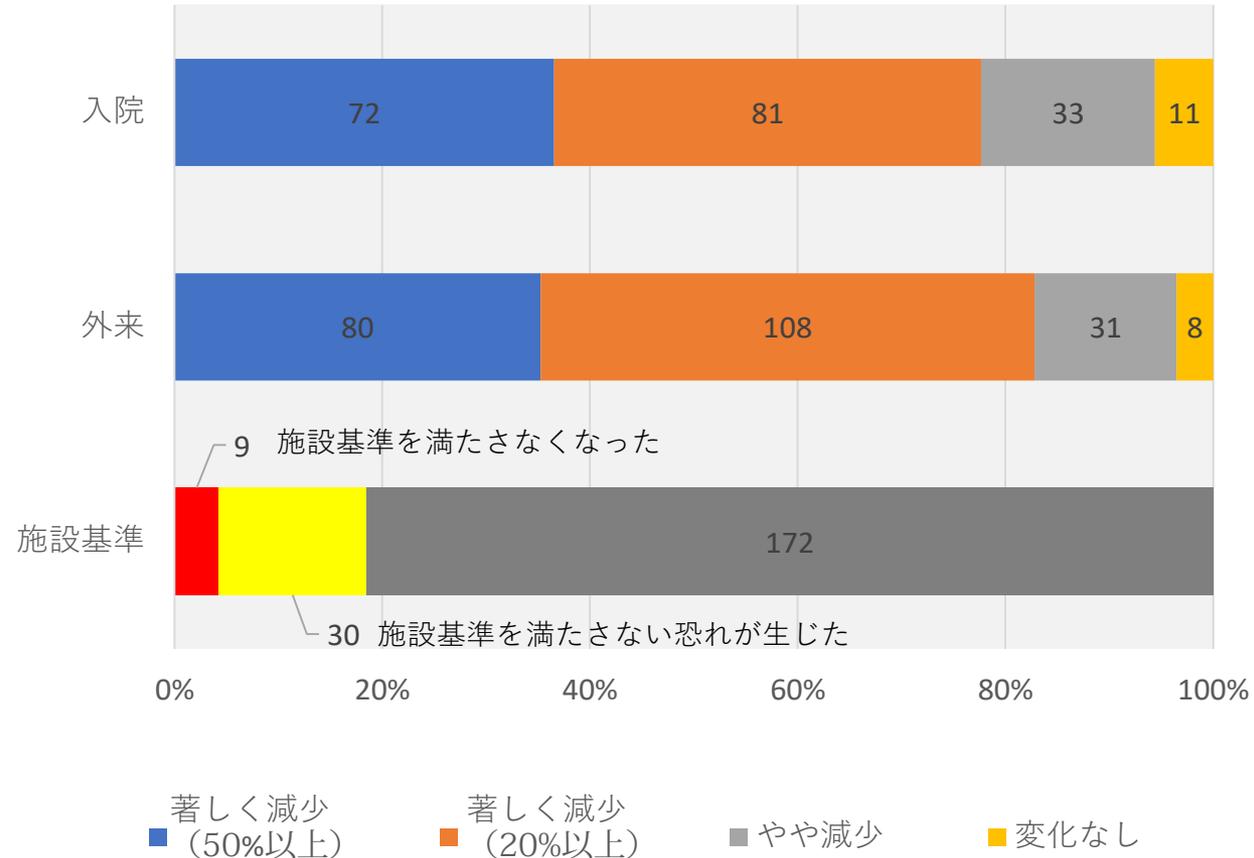
日本小児科学会代議員勤務医221の有効回答（小児科学会代議員施設数約400へ依頼）

回答者の背景と患者数の推移

回答代議員の勤務形態



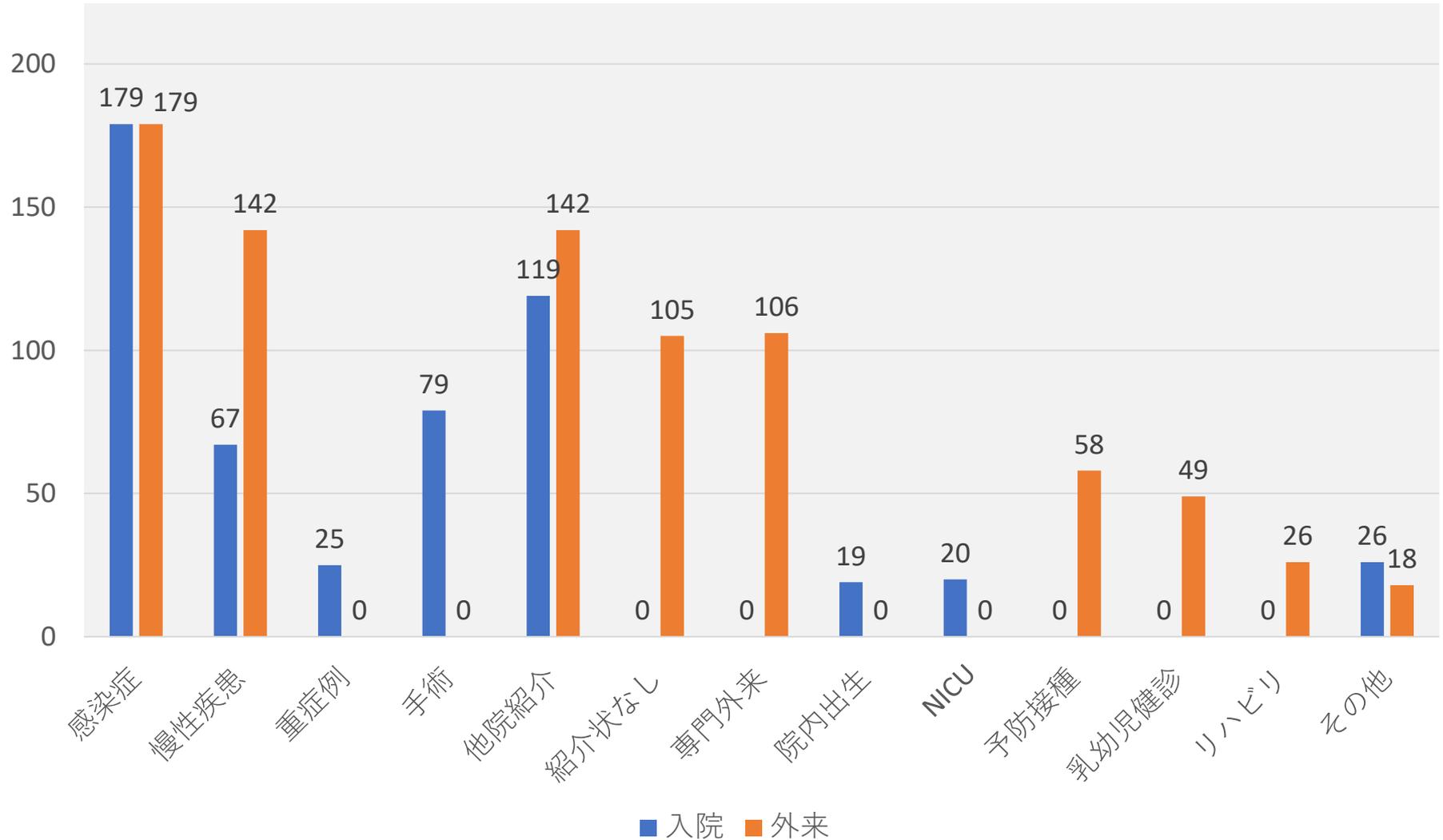
COVID-19流行後の患者数



新型コロナウイルス感染症に伴う病院小児科の影響調査（1次調査概要）

日本小児科学会代議員勤務医221の有効回答（小児科学会代議員施設数約400へ依頼）

患者数減少の内訳(複数回答あり)

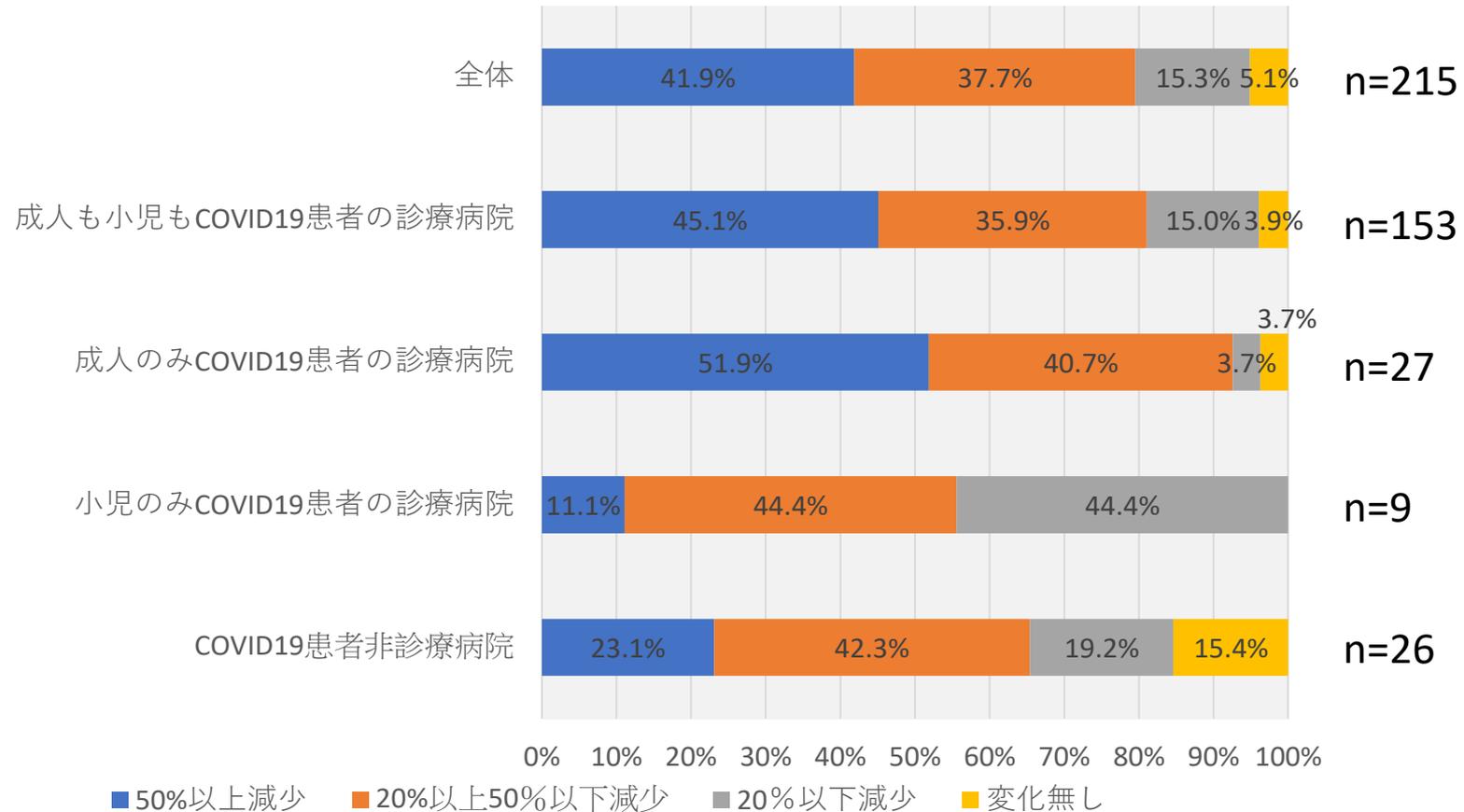


新型コロナウイルス感染症に伴う病院小児科の影響調査（1次調査概要）

日本小児科学会代議員勤務医221の有効回答（小児科学会代議員施設数約400へ依頼）

入院・外来からみた影響

入院患者数の減少割合



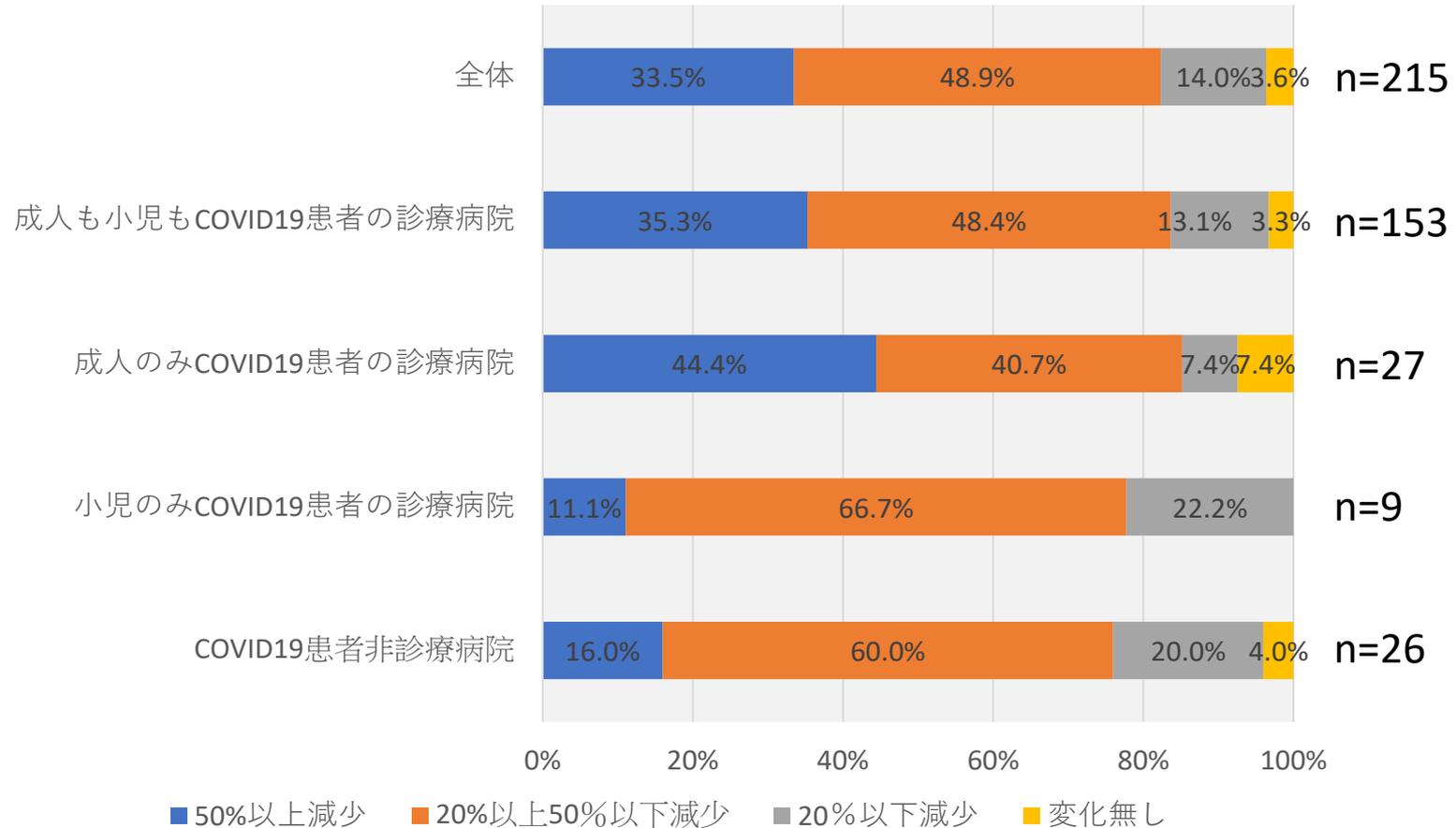
COVID-19患者の診療を行っている医療機関、
成人・小児両方に対応する総合病院でより影響が大きい。

新型コロナウイルス感染症に伴う病院小児科の影響調査（1次調査概要）

日本小児科学会代議員勤務医221の有効回答（小児科学会代議員施設数約400へ依頼）

入院・外来からみた影響

外来患者数の減少割合



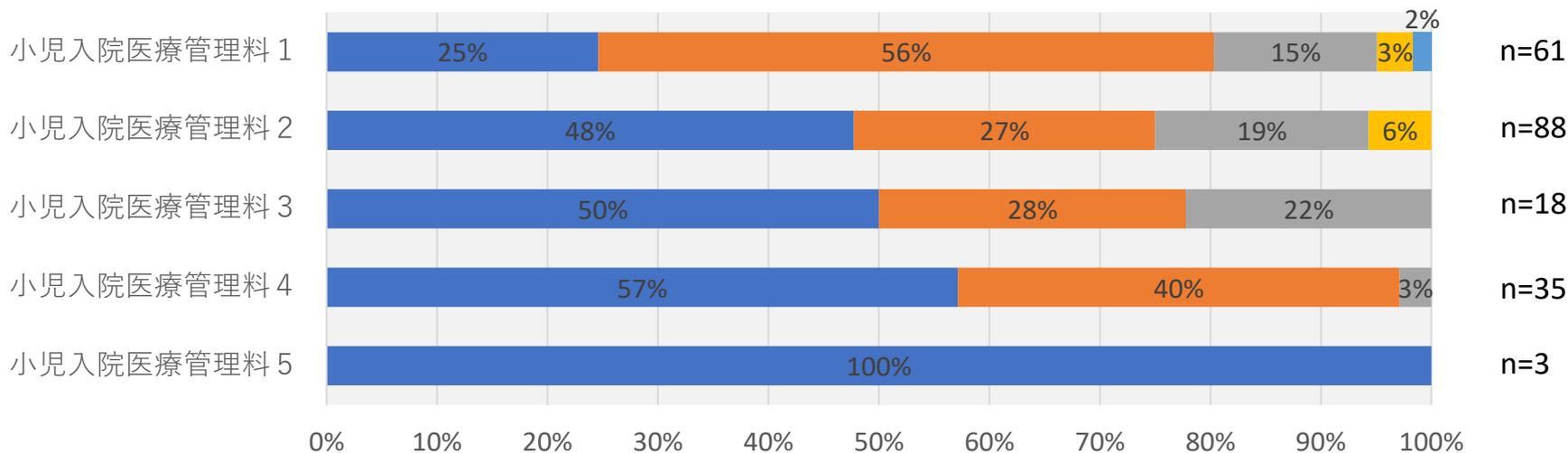
COVID-19患者の診療を行っている医療機関、
成人・小児両方に対応する総合病院でより影響が大きい可能性がある。

新型コロナウイルス感染症に伴う病院小児科の影響調査（1次調査概要）

小児入院医療管理料からみた影響

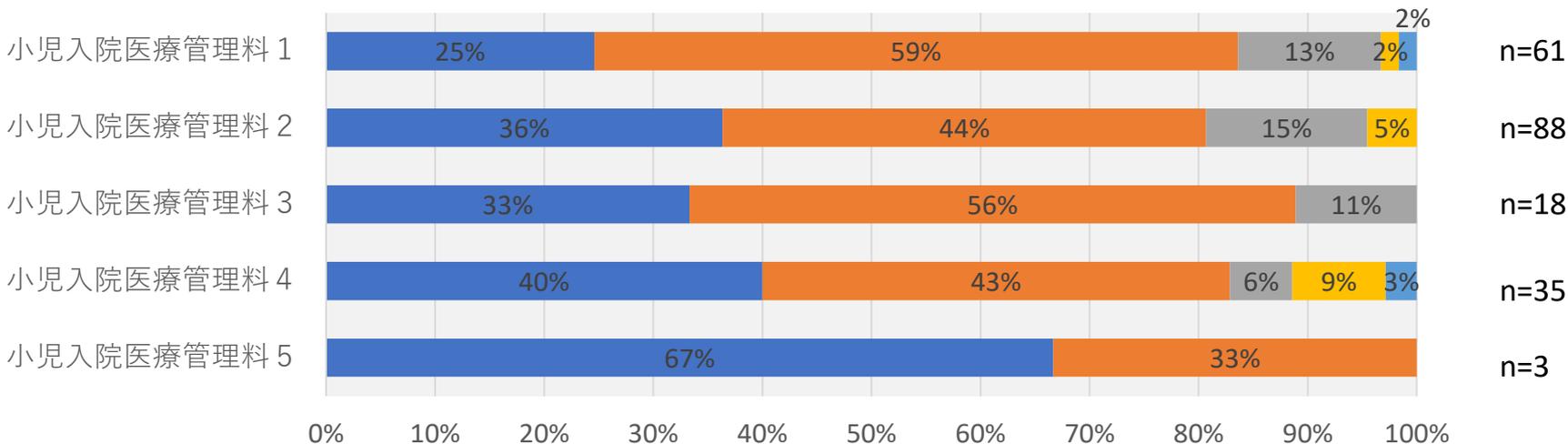
入院

日本小児科学会代議員勤務医221の有効回答（小児科学会代議員施設数約400へ依頼）



■ 著しく減少した（前年比で概ね50%以上減少） ■ 大きく減少した（前年比で概ね20%以上減少） ■ やや減少した ■ 変化なかった ■ (空白)

外来



■ 著しく減少した（前年比で概ね50%以上減少） ■ 大きく減少した（前年比で概ね20%以上減少） ■ やや減少した ■ 変化なかった ■ (空白)

規模の小さな医療機関のほうが影響が大きい可能性がある。

調査結果のまとめと今後の課題

- 本調査の結果、**COVID-19**の流行に伴い、以下の特性を有する医療機関で患者数の減少傾向が認められた。
 1. COVID-19患者の診療を行っている医療機関
 2. 成人・小児両方を診療する総合病院
 3. 規模の小さな医療機関(小児入院医療管理料の区分に基づく)
- 本調査は代議員による定性的な情報に基づいており、根拠としての正確性は不十分である。
現在実施中の二次調査でより正確な実態把握を行い、データをもとにした提言を関係機関に対して発信する必要がある。